

## ○萩浦地区タウンミーティング会議録(概要)

日 時:令和元年7月6日(土)

午前10時から午前11時40分まで

場 所:萩浦公民館

出席者:約60人

### テーマ1 富山市版スマートシティへの取り組み:企画管理部

<主な説明事項>

- 1 富山市北部地区における人口・高齢化率の推移について
- 2 富山市版スマートシティの構築について
- 3 富山市スマートシティ推進基盤利活用促進事業概要について
  - ・パイロット事業
  - ・今後のこどもを見守る地域連携事業
- 4 富山市ライフライン共通プラットフォーム事業概要について

#### 【企画管理部の説明に対する質問】

・スマートシティとは、どのようなまちのことですか。

(企画管理部長)

現在の新しい技術でありますIOT(Internet of Things)、AI(人工知能)及び5G(第5世代移動通信システム)が今後広がると思われませんが、自動車の自動運転などを含む新しい技術を取入れながら、まち全体の効率化、最適化を図ることを目指したのがスマートシティとなります。

(情報統計課参事)

新しい技術を取入れ、市民サービスの向上、今後の持続可能な社会を構成するインフラ整備になります。例えば、自動車の自動運転、医者がいない場所でインターネット

越しによる治療などの技術を導入いたしまして、市民のサービスの向上を継続的に、効率的に実施できる社会を目指すことであります。

・市役所の窓口などで、依頼や要望を伝えた際に、「前例がない、現状のままの方がよい」などの理由で拒否されてしまうことがあり、市の職員の考え方が保守的であると感じます。

(企画管理部長)

そのように感じられたということは、遺憾であります。富山市では、現在の市長が就任以降、職員の意識もすごく変わりました。周囲からも「結構変わったね」と評価をいただくことがあります。

現在の市長は前例にとらわれることなく検討を進めていくことなど、意識改革を図ることを、市長は就任時に職員へ伝えていきます。職員には徐々に浸透していると思っておりますが、まだまだ若い職員までには浸透していないかもしれません。今後も継続して、しっかりと意識改革を図っていきたいと思います。

・児童などが巻き込まれる悲惨な交通事故などを報道で耳にしますが、市では事故を防ぐようなことは考えていますか。

(企画管理部長)

先日も起きたような交通事故は、なかなか防ぐのは難しいと伺っております。子どもたちを交通事故から防ぐ見守り事業に関しましては、地域のみなさまの力をお借りしなければ難しく、地域に頼る部分が大きいです。

少しでも役に立てばとのことで、今回お伝えしましたデータを地域のみなさまに提供して、危険個所の把握、対応をお互いに進めていきたいと考えております。地域のみなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

・児童に携帯してもらおうセンサーは、どのような目的で、どのようなものなのですか。それらを示した一覧表はないのですか。

(情報統計課参事)

現在は、小学生の児童に持っていておられますGPS付のセンサーだけです。今後については、これから事業を進めていきますので、どのような目的で、どのようなセンサーを導入するかなどを示した一覧表は、ございません。

## テーマ2 がん検診について:福祉保健部

### ～がん対策と受診率向上～

<主な説明事項>

- 1 「がん」について
- 2 がん検診の概要について
  - ・受診率向上への取り組み
  - ・富山市のがん対策事業
  - ・今年度の新しい取り組み

### 【福祉保健部の説明に対する質問】

・がんについての出前講座はありますか。

(福祉保健部長)

出前講座には、多くのメニューを用意しております。当然がん検診について取り扱ったものもあります。ぜひお役に立てていただければと思います。

・富山市のがん検診対象年齢で、前立腺がん検診は最高 65 歳となっておりますが、65 歳以上は罹患しないのですか。受診しなくてもよいのですか。

(福祉保健部参事【保健所次長】)

罹患しないことはないです。年齢で区切ってそのタイミングで受診していただくことを目的としています。ただし、ご自身で何かしらの症状が出た場合には、泌尿器科を受診していただき、その中で病気を見つけていくことも必要です。

(福祉保健部長)

今回お伝えしていますががん検診は、市の事業であります。受けたい人がみなさん受けられると、同じ方が毎年受けられることになるので、年齢を区切って、その年齢を迎えた時に受けていただきたいと思います。ご自身で心配な時は、ご自身で受けてください。

ただし、中には高齢の方でがんに罹患したとしても治療はしないという方もいます。人ごとにそれぞれのリスクはあります。先ほど死因で、がんを挙げましたが、以前は死因の確定診断を行われなかったと思われます。高齢の方の死亡については、老衰でよいのではないかとこのことで詳しくは行っていないと思われます。今は病院で亡くなることが多いため、最終的に死因の診断を行っていますので、がんによる死亡などが多いのであろうと思ひます。

健康なみなさんにもタイミングがありますので、市からご案内をしました時に検診を受けていただきたいと思います。

・がんの罹患原因は煙草だと教えていただきましたが、一番よいのは、製造販売を止めることだと思ひます。

(福祉保健部長)

煙草は、嗜好品でございます。酒については、禁酒法の時代もあったようですが、自己判断していただくことだと思ひます。がんの罹患リスクが高くても煙草を吸う、止めない、煙草を吸えないのならば死んでしまう方がまだという方もいらっしゃいます。

全ての悪い物を排除することは、社会としてはいかななものかと思われます。むしろ自然の流れとしましては、みなさんが禁煙をして、「日本たばこ産業株式会社」が商売としてなりたないから、廃業して他の仕事を行うという考え方が緩やかで、自然の流れではないかと思ひます。

## 【その他意見交換】

・こどもの行うことに、構いすぎではないか。以前のこども達は、構わなくても悪いことを1回したとしても、2回、3回と続けてはしなかったと考えます。

(企画管理部長)

そのような考えもありますし、また別の考えもあります。社会環境が大きく変わっておりますので、そのような環境にも当然対応しなければならないです。多様な考え方を取り入れていきたいと思っております。

※発言の一部を整理して掲載しています(広報課)